



「遊びランド」 藤崎小学校

世代間交流で楽しむ

2月21日(金)、藤崎小学校2年生より町老連へ「遊びランド」への招待があり、会員20名が参加し交流を楽しみました。

この「遊びランド」は、1年生の時「昔の遊び」で6種類の遊びを教わったので、この度は2年生になって色々な遊びを計画し、グループ毎に制作した遊びで我々会員を招待し、楽しい遊びの場を提供してくれました。

この行事は子ども達の、知恵と工夫を働かせ、グループで検討し、必要な物を協力して作り上げ、分担して遊びを通して我々高齢者をもてなすものでした。会員達もどんな遊びになるのか興味津々でした。最後は子ども手造りの賞品を貰い笑顔で楽しんでいました。会員からは、お土産さんコーナーで、勧め



終わりの会の発表を聞く会員



手をつなぎ会場へ



食堂で楽しむ



プレゼントされた賞品の一例



輪投げコーナー



グループ毎の自己紹介

方の対応が上手な子があり、将来が楽しみだと感想を言っていた。

発行者
藤崎町老人クラブ連合会
藤崎老人福祉センター内
電話 0172-75-3232
Fax 0172-75-2128

昨年度の活動報告

亀田悠遊会 赤石久男

令和6年11月29日(金)、久々のバス旅行で「あそべの森岩木荘」に行きました。雪の日でしたが、豪華な食事に舌鼓を打ちました。

続いて、12月24日(火)、今年中行事になった「生け花教室」を9人の参加で実施しました。

お花の佐々木陽子先生、佐々木房子先生のご指導を頂きながら、新年を迎える豪華な花ができました。毎年継続してきた経験から、いずれも中々の出来映えで、各々が大事にもち帰りました。

新年1月19日(日)、亀田町内会の新年会が行われましたが、ここで参加した悠遊会員が「昔取った杵柄」を發揮しました。文字通り「杵」をとり、臼で餅をつき、ちぎって丸め、その時、孫やひ孫のような子ども達と、笑いの絶えない賑やかな楽しい交流会でした。

悠遊会恒例の行事となった正月花の講習会。



岩木荘、で久しぶりの楽しい会食

亀田町内会と悠遊会と合同で新年会を開催。餅つきは子供達に好評。

補助金申請相談日

単位老人クラブ会長・専門部長
広報委員長・女性部長・若手委員長 各位

日時 ① 4月12日(土) 9時~12時
② 4月13日(日) 9時~12時

老連事務局

町老連理事会のお知らせ

単位老人クラブ会長・専門部長
広報委員長・女性部長・若手委員長 各位

一、日時 4月18日(金) 午前10時~11時

二、場所 藤崎町文化センター 多目的ホール

三、案件

(1) 令和6年度事業報告・収支決算について

(2) 令和7年度事業計画(案)・収支予算(案)について

(3) 役員改選について

(4) 令和6年度実績報告書・令和7年度補助金等申請書の提出について

四、お願い

会長・部長・委員長が欠席する場合、必ず代理役員等を出席させて下さるようお願いいたします。

町老連定時総会のお知らせ

単位老人クラブ会長・専門部長
広報委員長・女性部長・若手委員長 各位

一、日時 4月26日(土) 受付 9時30分

総会開始 10時

二、場所 藤崎町文化センター 多目的ホール

三、案件

(1) 令和6年度事業報告・収支決算について

(2) 令和7年度事業計画(案)・収支予算(案)について

(3) 役員改選について

(4) その他

四、講演 ①「地域おこし協力隊と初めての雪国」

講師 地域おこし協力隊 大和田賢吾 隊員

講演 ②「この町でよかった」と思える子育てを」

講師 地域おこし協力隊 工藤 光 隊員

五、懇親会

六、参集範囲

各単位クラブ3名以内、専門部3名以内、

広報委員3名、女性部3名、若手委員9名

七、参加費 1名につき千五百円(当日集金)

八、申し込み

単位クラブには「白寿」4月号に申込書を同封し、専門部・女性部は、藤崎・常盤両福祉センター窓口にある申込書で申し込んで下さい。

九、申込締切

4月18日(金)理事会開催日迄に左記申込先へ提出して下さい。(電話での申込は受付しません)

藤崎老人福祉センター FAX 七五二二二二八

常盤老人福祉センター FAX 六九一五二六二

春季トランプ大会のお知らせ

一、日時 5月17日(土) 受付 8時30分

開会 午前9時

二、場所 藤崎老人福祉センター集會室

三、対象者 町内老人クラブ会員で男女は問わず

四、種目 個人戦のみ(午前3試合)

順位は3回戦の取得点数の合計点で決定。

五、会費 千五百円(賞品・弁当代 当日集金)

六、申込締切 4月30日(水)迄 両福祉センターへ

七、その他 (電話での申込は受付しません)

①大会は町老連大会ルールで行い、その他必要な事項については、当日説明します。

②表彰は1位~10位迄と、飛び賞、当日賞、残念賞、無念賞など多数用意しています。

また、参加者全員に参加賞を差し上げます。

③昼食は、事務局で用意し、持ち帰りとなります。

④大会会場「賭け・飲酒・喫煙」は禁止です。

※場はテーブル席ですので、足の不自由の方も是非ご参加ください。

4月行事予定表			
日	曜	行事	時刻
1	火		
2	水		
3	木	囲碁・将棋部	12:30
4	金	女性部役員会	10:00
5	土	レクダンス部	9:00
		老連役員会	10:00
6	日	日本舞踊部	13:00
7	月	芸能部	12:00
8	火	囲碁・将棋部	12:30
9	水	茶道部	13:00
10	木	囲碁・将棋部	12:30
11	金		
12	土	レクダンス部	9:00
		補助金申請相談日	9:00
13	日	日本舞踊部	13:00
		補助金申請相談日	9:00
14	月	芸能部	12:00
15	火	西豊田温泉 電気工事(館内停電)	
		囲碁・将棋部	12:30
16	水		
17	木	囲碁・将棋部	12:30
18	金	理事会(文化センター)	10:00
19	土	レクダンス部	9:00
		日本舞踊部	13:00
20	日		
21	月	芸能部	12:00
22	火	囲碁・将棋部	12:30
		広報委員会	13:30
23	水	茶道部	13:00
24	木	囲碁・将棋部	12:30
25	金		
26	土	レクダンス部	9:00
		老連総会(文化セ)	10:00
27	日	日本舞踊部	13:00
28	月	生け花部	10:30
29	火	昭和の日	
30	水	【白寿】配布日	16時→

老いを楽しく

第十三回

元ときわ会病院長 永山 隆造

《苦勞の試練から日々の感謝へ その二》

前回は太平洋戦争開戦前から敗戦後の配給制度や食料難の一部を書きました。私は昭和十六年小学校入学から昭和二十三年中学校を卒業する頃迄が、最も困難な時代であったと思つていますが、ただ子供の頃なので大人の苦勞は良く判りませんが、子供の経験した食糧難について書くことにします。

当時は魚や肉などは一年に四、五回配給があるくらいでした。今でも強烈な印象に残っているのは、魚の配給を取りに行った母が持ってきた南瓜ほどの大きなサメの頭でした。各戸にサメの頭が一個配給になったのです。そのサメの頭を切り分けて塩茹でにして骨に付いた肉を食べました。「こんなにサメの頭だけで胴体はどこに行ったのだろうね」と話し合ったのを覚えています。多分兵隊さんの食料になったのでしょう。サメの頭の配給のことはパソコンで調べても載っていたので私の思い違いではありません。配給の肉と言っても非常に僅かなのでライスカレーにするだけでした。それでも今晩はカレーライスだと聞くと子供達は大声をあげて喜んだものでした。当時は学校給食など無い時代で、弁当も刻んだ大根やジャガイモの入ったご飯に梅干だけで、「日の丸弁当」と呼んでいました。先生が皆の弁当を見て回り、米だけの飯の弁当を持ってきている児童に「お前の家は贅沢だな！」と注意したりしました。「贅沢は敵だ！」と言う標語があちこちに出ていた時代ですから、注意された児童は大変恥かしい思いをしたのです。また弁当を持ってこれない児童がクラスに二、三人いて、昼食の時間には校庭に出て行きブランコに腰掛けたりして、とても可哀そうでした。学校から帰ってもおやつなどは無く腹が減っていたので、青梅の実に塩を付けて食べたり、野原で「すかんぼ(酸い葉)」を食べたりしました。遠足は春秋とも山へ行き、春は「うど」を見つけ食べるための味噌を持って行き、甘い物に飢えていたので、赤い山つつじの花の蜜を吸ったり、秋は「あけび」を見つけて食べるのが楽しみでした。こんな生活をしていたので栄養不良で病気になる子供も多かったのです。(次号へ続く)

常盤ひとり旅

第二十四回

石澤清五郎

今冬のドカ雪と寒さには参った。青森の最低気温の記録は氷点下二四・七度(昭和六年二月二十三日)だそうだが、それに比べればまだよかつたかなア(以下前号続き)。

老人福祉センター前の駐車場はいろいろな行事に使われ、特に昭和五十七年から始まった夏祭(丑湯まつり)は秋のときわいきまつりに次ぐ常盤村二大祭りのひとつとして賑わう。南西の大字常盤字富田七十番地に農村総合整備モデル事業の一環として昭和五十六年に造成された常盤地区農村公園が広がっている。面積は三千平方メートルの長方形で、憩いの広場、芝生の広場、子供の広場とそれぞれ名前がついているのだが区別なく地区民に広く愛用され、老人の宴会場や、梅、桜、藤を見る会、盆踊りの場所となつたりで人影のたえることがなく利用されているようだ。向かいには農協で昭和三年に植樹したポプラの大樹があつたが、昭和四十四年十月十二日倒されてしまった。

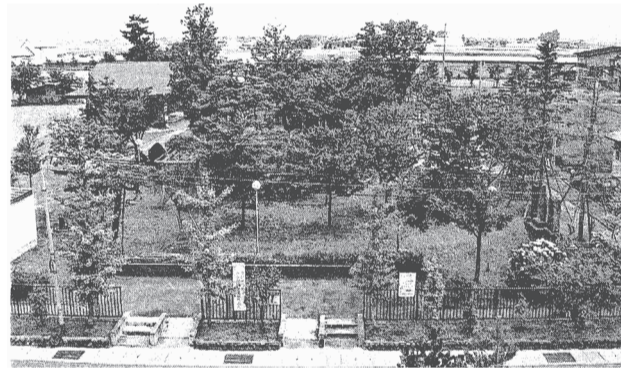
でも農村公園には次々と大樹が運ばれ森を成している。この公園に五基の石碑が建立されている。奥の方から、一〇センチのゴマ石を混合したコンクリートの台座の上に背丈一〇センチの人形?柴を背負い、ワラジをはいて本を読みながら歩いている姿、もう解つたらう。勤勉、節約、孝行を実践した「二宮金次郎像」だ。前面の表示版、裏の寄贈者の氏名版と思われる箇所がセメントで塗りつぶされてあつた。何故だろう。

並んで二番目の碑は、高さ一六〇センチに幅九〇センチの石に「日露戦没記念」と刻まれ、その下に名前らしい字句が細々と書かれてあつたが判読出来なかつた。日露戦争に従事した人かこの碑を建之した方々の名前かと察した。横面に明治三十九年五月一日富木館村尚武会建之とあつた。

三番目の碑は自昭和六年至昭和九年「満州事変記念碑」で幅一四〇センチに議員八木橋健一(外十七名の氏名あり略)夫頭、大野長之助と刻まれてあつた。

その次の碑は高さ一二〇センチの台座に一七〇センチの右肩のくずれた自然石があつた。裏をのぞくと

と陸軍歩兵中尉故藤林要次郎外十三名に海軍一等水兵工藤源造、昭和十一年四月二十九日建之、富木館村と刻まれ、隅に小さく石工倉嶋兼吉とあつた。以上の三基は育英小学校の庭にあつたものを移設した碑だろうと察した。以下つづく。



藤崎町社会福祉協議会(常盤温泉)の前庭敷地の一角に左上図の石碑がある。現在は相撲の土俵が作られ、夏祭りの時に少年達の相撲大会が開催され、観客の声援がとび、賑わっている。



左側は満州事変の石碑 右側は日露戦没者記念碑 その他に二宮金次郎の石像が見られる。旧富木館村立育英小学校にあつた石像をここにしましたものである。

◆歯なしの話 155◆

佐藤 透

ハワイ旅行 そのうちで良いヤと思つていたのが「ハワイ旅行」と「香港旅行」。

手軽にいつでも出かけられると思つていたので、延びのびになつていった。それがヒヨンなことから急に行く計画が持ち上がり、あれよあれよと言う間に2025年1月1日(米国では12月31日)より1月12日までの期間に行くはめになった。

最大の理由は旅費がタダである事です。どうしてかと言うと、娘達は米国に居てカードを使って種々の支払いをし、その折々にマイル(ポイント)がたまり、娘達家族と私と家内の分の費用が出せるということになり、私達にハワイに行かないかと声がかかってきた訳である。更に娘の旦那の友人がハワイに家を持っていて冬の期間(1月〜12月頃?)は

居ないので使つても良いと言う願つてもない条件に、我々夫婦もその旅行に賛成の手を上げた次第である。正確に旅費が幾らか分らないのだが、ザッと調べても2週間も滞在するとなると30万〜40万円は必要だと推測される。そこで交換条件として滞在中の食事は私達が持つと言う事にした訳である。更に言う私のたまつたマイレージを息子夫婦に使わせる事にし、息子達家族も三人一緒にハワイの旅に参加となった。(これにも手続きに多少の経費が必要となるので、息子に出してもらつた。)

さて、今まで行かずにいたハワイ旅行だが、我が母などはまさに2度訪れていて、私達夫婦に自慢げにその良さをアピールするのである。また、ハワイ旅行の経験者も口々に良さを言うので、さてさてどんな具合に良いのか確認の意味も込めて、チェック旅行となった訳である。

今回の飛行に要した時間は(青森→羽田→ハワイ)羽田→ハワイが6〜7時間程、ハワイ→羽田が9時間程であつた。私達はホルルのあるオアフ島に半分、ハワイで一番大きな島のハワイ島に半分滞在した。行かれた方はご存知の様に最初は沖繩に降りたつた時の南国の温かさをまず感じる。気温は20度前後〜27〜28度くらいで、一日中半ズボン・Tシャツで過ごせるのは、年寄りには良かった。皆様が行きたがる3条件の一つは、この快適な気候のせいもあるのかも知れない。マイナスで大雪の青森から常夏のハワイはそれは天国と言われるものでしょう。

川柳 藤崎地区

田中 さち子

確実に加齢とともに持病増え

佐々木 トミエ

介護され夫「どうも」だけ忘れない

木村 羊川

上を見て下を見て通る冬の道

成田 波麻

大雪もどしり構える岩木山

滝 扇

ロボットが書いたみたい年賀状

清水 川魚

忘れぬ別れた恋の春の雪